

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価コメント |
|-------------------------------------|------|---|-------|---------|-----------|--------|--|---|
| | | | 出来ている | ほぼ出来ている | 出来ないことが多い | 全く出来ない | | |
| I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営] | | | | | | | | |
| (1) 理念の明確化 | | | | | | | | |
| サービスの特徴を踏まえた理念の明確化 | 1 | 当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている | ○ | | | | 運営規程に明記し、事業所内に掲示している。 | 運営規定に明記している基本理念に「納得のできる医療・保健活動の実践により健康福祉社会づくりに貢献する。」を掲げている。 |
| (2) 適切な人材の育成 | | | | | | | | |
| 専門技術の向上のための取り組み | 2 | 管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している | | ○ | | | 事業所内講習などで理解が深められている。スタッフ間での認識の共有に努めていく。 | スタッフの入れ替わりもあり、把握しきれていない所もある。新任研修等で周知徹底されることを期待する。 |
| | 3 | 運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している | | ○ | | | オンラインや動画研修等での参加できている。今後は更に参加機会を設けていく。 | 運営者は積極的に研修情報を収集し、研修を業務に位置付け、職員に周知している。 |
| | 4 | 管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している | | | ○ | | 能力や利用者との相性などを可能な限り配慮している。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 介護員の人数は5名配置で実施している。 |
| 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保 | 5 | 介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている | | ○ | | | 主にICTの活用、事務所内での報告などにより情報共有できている。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |
| (3) 適切な組織体制の構築 | | | | | | | | |
| 組織マネジメントの取り組み | 6 | 利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている | | ○ | | | 緊急時などはニーズに応じ対応してる。7:00～22:00までの定期での提供時間を確保できている。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価コメント |
|--|------|---|-------|----------|------------|---------|--|-------------------------------------|
| | | | 出来ている | ほぼ出てきている | 出ていないことが多い | 全く出ていない | | |
| 介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映 | 7 | 介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている | ○ | | | | 得られた意見を可能な範囲で反映させている。9月、3月に年2回以上開催している。 | 問題なし |
| (4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備 | | | | | | | | |
| 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備 | 8 | 利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている | | ○ | | | クラウドシステムやICTの活用、電話連絡等、状況に応じた方法で情報共有している。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |
| (5) 安全管理の徹底 | | | | | | | | |
| 職員の安全管理 | 9 | サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等） | ○ | | | | 当センターの管理マニュアルに従っている。 | 問題なし |
| 利用者等に係る安全管理 | 10 | 事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている | ○ | | | | 個人情報保護規定に基づき、適切に管理している。 | 問題なし |
| II 過程評価 (Process) | | | | | | | | |
| 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | |
| (1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 | | | | | | | | |
| 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施 | 11 | 利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている | | ○ | | | 日々の訪問により収集した情報を基に、介護、看護で月一回アセスメントを行い、支援の方法やタイミングなどを考慮している。 | 頻繁に変化する利用者の状況に応じ、再アセスメントを行っている。 |
| | 12 | 介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている | ○ | | | | 毎月介護・看護共にアセスメントを行っている。 | 問題なし |

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価コメント |
|--|------|--|-------|---------|-------------|----------|---|-------------------------------------|
| | | | 出来ている | ほぼ出来ている | 出来ていないことが多い | 全く出来ていない | | |
| 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成 | 13 | 利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている | | ○ | | | 残存能力の活用・維持のプランを組み込んでいく。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |
| | 14 | 重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている | | ○ | | | 過剰支援にならないよう個々人の残存能力を把握し自発的行動を促す支援の工夫を行っている。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |
| (2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し | | | | | | | | |
| 計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供 | 15 | 計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている | ○ | | | | 本人の体調不良や家族の体調不良時、就労の都合を加味し柔軟に対応している。 | 問題なし |
| 継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映 | 16 | サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている | ○ | | | | 月1回モニタリングシートを作成し、プラン検討時に活用している。ケアマネにも提出・報告している。 | 問題なし |
| (3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供 | | | | | | | | |
| 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | 17 | より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている | ○ | | | | 日々の状態観察とその報告や、ケアへのアドバイスなど職種を越えて協働している。 | 問題なし |
| 看護職によるサービス提供に関する指導、助言 | 18 | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている | | ○ | | | クラウドシステムやICTの活用等で情報を共有し利用者理解を深めている。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価コメント |
|---|------|---|-------|---------|-----------|--------|---|---|
| | | | 出来ている | ほぼ出来ている | 出来ないことが多い | 全く出来ない | | |
| (4) 利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | | |
| 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供 | 19 | サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている | ○ | | | | 利用相談時や契約時に本人・家族へ説明している。 | 問題なし |
| 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供 | 20 | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている | ○ | | | | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護計画書を交付し説明している。 | 問題なし |
| | 21 | 利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている | ○ | | | | ケアマネジャーを介したり、直接報告する等、状況に応じ対応している。 | 問題なし |
| 2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | | |
| (1) 共同ケアマネジメントの実践 | | | | | | | | |
| 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案 | 22 | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている | | ○ | | | 日々の状況などをこまめにケアマネジャーに報告している。また、意向や訴えを関係者で共有している。 | 家族、利用者の希望があれば、適宜サービスの変更をし、都度担当ケアマネジャーにできる限り早急に情報共有している。 |
| | 23 | 計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている | | ○ | | | サービス、ケア等の利用を含め提案・活用を勧めている。 | 利用者の状況により、他者との交流等が必要な場合は、デイサービスの利用の提案を行う等している。 |
| 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供 | 24 | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている | | ○ | | | サービス担当者会議、若しくは照会にて状況をメール等で共有し多職種へ報告している。 | 計画書を作成しケアマネジャーに提出し、細かな情報はメール等を通じて共有できている。 |

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価コメント |
|---|------|--|-------|---------|-------------|----------|---------------------------------------|---|
| | | | 出来ている | ほぼ出来ている | 出来ていないことが多い | 全く出来ていない | コメント | |
| (2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 | | | | | | | | |
| 利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 25 | 利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目） | | ○ | | | 介護・看護間で協議しケアマネージャーへ提案している。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |
| | 26 | 病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目） | ○ | | | | 退院前の密な連絡や情報共有は積極的に行っている。 | ケアマネージャー等によるメール、電話などで多職種がすぐに共有し易い情報ツールで情報共有等を行っている。 |
| 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案 | 27 | 地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目） | | ○ | | | 関わり得る職種やサービス事業者間でのこまめな情報共有や連携を行っている。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |
| 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | | |
| (1) 地域への積極的な情報発信及び提案 | | | | | | | | |
| 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | 28 | 介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている | ○ | | | | ホームページ等を利用し公開している。 | 問題なし |
| | 29 | 当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている | | ○ | | | 定期的に近隣医療機関・居宅介護支援事業所等への広報・周知活動を行っている。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |
| (2) まちづくりへの参画 | | | | | | | | |
| 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解 | 30 | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している | | ○ | | | 泉南市役所ホームページでの計画内容の確認を行っている。 | 現状の課題を明確にし、具体的な改善策を立て、実行されることを期待する。 |

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | 外部評価コメント | |
|------------------------------------|------|---|-------|---------|-------------|----------|--|---|
| | | | 出来ている | ほぼ出来ている | 出来ていないことが多い | 全く出来ていない | | |
| サービス提供における、地域への展開 | 31 | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている | ○ | | | | 居住地を制限せず地域提供している。 | 問題なし |
| 安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等 | 32 | 当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目） | | | ○ | | 研修会などの情報を収集し地域開催の会議に積極的に参加していくことが今後の課題。 | 問題なし |
| III 結果評価 (Outcome) | | | | | | | | |
| サービス導入後の利用者の変化 | 33 | サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている | | ○ | | | 過剰支援にならないよう支援している。サービス導入により、在宅生活が安定している。 | 利用者や家族の状況に応じて、サービス提供内容を確認し、在宅生活を安定させる為に、支援内容の調整が図られている。 |
| 在宅生活の継続に対する安心感 | 34 | サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている | | ○ | | | 随時緊急訪問等の安心感も得られているサービス導入により、在宅生活が安定している。 | 利用者や家族の状況に応じて、サービス提供内容を確認し、在宅生活を安定させる為に、支援内容の調整が図られている。 |